

福井の幕末明治 歴史秘話

<第3号>

平成28年2月15日発行

「五箇条の御誓文」につながる三人の偉人！ ～横井小楠、坂本龍馬、由利公正～

明治新政府の基本方針を示した「五箇条の御誓文」。このルーツをたどると3人の人物が浮かび上がってきます。

まずは、由利公正の師ともいえる横井小楠。熊本藩士だった小楠は、福井藩の求めに応じ、藩校明道館の顧問に招聘されます。小楠は、福井藩の藩是として民富論を示した「国是三論」を起草していますが、「国是七条」や「国是十二条」では、人材を広く登用し、議会政治を実現することを求めています。

安政6年（1859年）、文久2年（1862年）の2回にわたり、由利は熊本の小楠宅を訪ねています。1回目の道中は小楠に同行しての訪問でした。小楠は酒好きと言われており、二人は、毎夜酒を酌み交わしながら、国の在り方などを議論をしたと言われています。

※小楠の旧宅「四時軒」は再建され、横井小楠記念館と併せて観覧できます（熊本市沼山津）

次に、幕末の高知県のヒーロー、坂本龍馬です。龍馬は三度福井藩を訪れ、松平春嶽や由利公正らと面会しています。それぞれの滞在期間中、龍馬は海軍操練所の建設に必要な資金5千両を借り受けたり、由利公正と葺屋旅館で朝から夜まで語り明かすなど、福井の偉人と様々な関わりを重ねます。

※龍馬が由利を新政府財政担当に推挙している手紙（複製）は高知県立坂本龍馬記念館で観覧できます（高知市浦戸城山）

この手紙はNHKの「歴史秘話ヒストリア」でも取り上げられました（<http://www.nhk.or.jp/historia/backnumber/201.html>）

龍馬は、松平春嶽から横井小楠を紹介されました。龍馬は小楠に惚れ込み、熱心に教を請いました。龍馬が作った新政府の基本方針「船中八策」でも、上下議院の設置による議会政治が記されています。

最後に由利公正。由利は、横井小楠の教え、坂本龍馬の思いを受けて、民を思い「議事之体大意」を起草しました。その後、木戸孝允らの修正案を経て「五箇条の御誓文」が取りまとめられましたが、新政府の基本方針は、こうした福井ゆかりの人たちにより作られた部分も少なくないと言えるでしょう。

※由利が起草した議事之体大意（複製）は、福井県立図書館に掲示されています（福井市下馬町）

～幕末ふくい歴史紀行～

[福井城内堀公園]

・福井県庁のお堀に面した公園。横井小楠と由利公正と一緒に九州へ旅立つ姿を表現した「旅立ちの像」があります。旅の目的は、長崎での物資販売ルートの開拓と言われています。

住所：福井市大手3丁目

（JR福井駅から徒歩約5分）



旅立ちの像

★お知らせ 由利公正が原型を作った銀座のまちでアンテナショップのスタンプラリーを開催中です！

・平成28年2月4日から3月4日までの期間に開催。

・五箇条の御誓文に大きな影響を与えた偉人ゆかりの地「福井」×「高知」×「熊本」アンテナショップのスタンプラリー。参加して、豪華賞品を当てよう！